
桜が舞う頃に

ソナチネ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

桜が舞う頃に

【Zコード】

Z2173Z

【作者名】

ソナチネ

【あらすじ】

桜が舞う春。和葉は平次を想つ気持ちをじょじょに確信した。同じ頃、平次も和葉に告白しようとしていた。・・・

(前書き)

前半は和葉田線、後半からは平次田線で書いていきます

和葉 side

草木が芽吹き、鳥が舞う。穏やかな風に靡く髪は春の訪れを感じさせる。

白く透きとおる肌にまとわりつく髪を気にする事もなく、和葉は丘の上の木に身を委ねていた。今の自分の気持ちに間違はないか、それを自然の力を借りて確かめたかった。

薄々気づいていた気持ちは昨日突然確信に変わった。それは、自分は、

平次のことが好きだという気持ち。ずっと幼馴染の関係から身を引こうとしたしなかったのは、自分で意地を張っていたものがあつたのだろうと思う。アホとかボケとかばっかり言う奴がなんで好きなやう?ずっとそう思っていた。でも、別にそんな事を突き止めて解釈する必要なんてないんかな、と今は思う。今平次のことが好きなんやつたら別に理由なんてどうでもいいやん、と。間違いない。あたしは平次が好きや。

平次 side

ずっと好きやつた。和葉のことがずっと。今まで認めたなかつたんは、誰かにこの事を知られるのが嫌やつたからやねんな、と思う。近所のおばちゃんに、友達に、何より親にこの気持ちを気付かれたくなかった。恥ずかしかつた。でも今は思う。別に誰に知られてもええやんか。知られるのはどうせ時間の問題や。でも、和葉にこの事伝えんのは時間の問題ちやうんや。時間が解決してくれる事やない。自分でやらなあかんねんや。平次は覚悟を決めていた。和葉の携帯に一通のメールを送つて、平次は忙しく動き出した。

いよいよ・・・

平次が着いた時にはもうすでに和葉は来ていた。和葉は平次を見つ

けると、いつもの笑顔でにっこり笑った。「へーじーどしたん?」いつもとは違う可愛さに、平次は思わず息をのむ。こんな幼馴染は初めてだ。

「すまん和葉、待たせてしもたな。」

「大丈夫やで平次。でもいつもとは立場逆やな。」「ほんまやな。どうしたん平次? いつもの公園つてこいでもえんやう?」

「おおてんで。」

「ほんなら何でいつもみたいに『ほな行こか』ってゆわへんの?」平次は思わず黙ってしまう。でもここで怯むわけにはいかない。少し気まずく、しかしどこか甘酸っぱい空気が平次と和葉を優しく包む。和葉もこの空氣的に理解した。もしかしたら平次は・・・

「なあ平次」「なあ和葉」気付けば二人はお互いに声をそろえて見つめあつていた。「え、あ、なんなん平次?」「いや、和葉も何や?」「平次から先ゆうて。」「でも・・・」「ええから早よ!」和葉は笑顔でいつもどおりにぶつきりぼつに平次を促す。平次は心を決めた。

「和葉。よう聴いてほしい。俺な・・・」和葉の頬が赤らんだ。

「和葉が好きやねん」

言つてしまたーーー平次は今すぐにでも穴があればもぐりたかった。しかし、肝心の和葉の返事を聽かなければいけない。ほんの少し静かな時が流れた。平次の不安が募る。しかし、そんな心配は必要なかつた。

「ありがとう平次。あたしも平次の事好きやで。多分、前からずつ」と

一枚の花びらが、重なり合つた一人のシルエットの様に、風に乗つて一人の前に、恋のキューピットとなつてふうわりと舞い降りた。

(後書き)

関西弁できてたあああ！－！でも、私は滋賀県民なので、少し変な
関西弁になつてるのかも。滋賀は関西と関東の真ん中ですし、滋賀
特有の方言などもあるので、結構難しいんです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2173n/>

桜が舞う頃に

2010年10月21日20時10分発行